

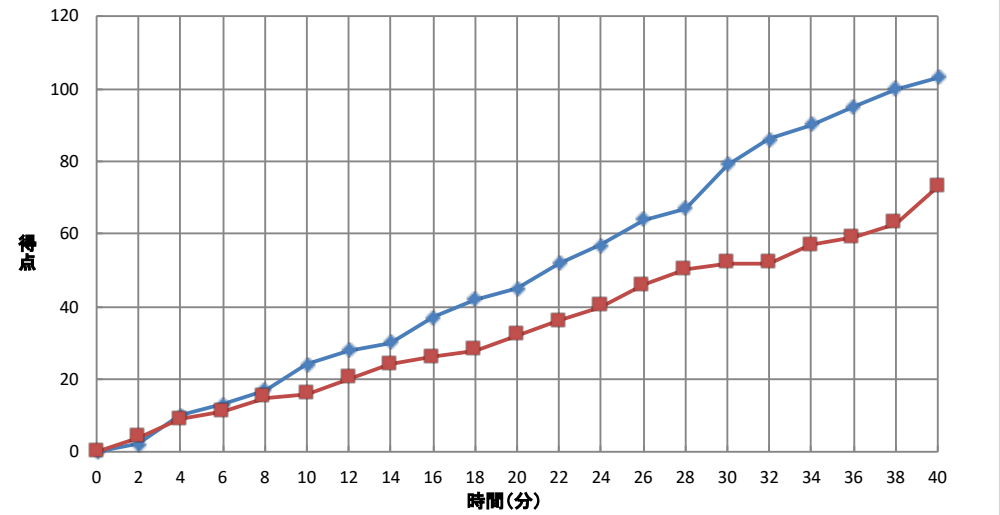


第34回近畿高等学校バスケットボール新人大会

個人トータル表

女子		令和6年2月18日		9:30 開始									
準決勝		ジェイテクトアリーナ奈良		A									
◎ 薫英女学院 (大阪)		103		73 京都両洋 (京都)									
		24 1st 16 21 2nd 16 34 3rd 20 24 4th 21											
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	齋藤 穂佳	0	0	0	0	0	1	ユメス カオサラ ボルツワフェ	6	0	2	2	2
* 5	三輪 美良々	29	1	9	8	2	* 2	杉山 心月	6	2	0	0	3
* 6	幡出 麗実	14	3	2	1	2	3	森口 笑来美	-	-	-	-	-
* 7	黒川 春陽	0	0	0	0	2	5	高原 綾乙	-	-	-	-	-
* 8	岩井 萌	16	2	2	6	1	* 7	木谷 夢菜	29	1	10	6	3
9	官武 明月	2	0	1	0	2	* 8	谷口 心綾	6	0	2	2	1
10	的場 梨緒	8	0	4	0	2	* 9	岡田 彩葉	18	1	5	5	5
* 11	富田 涼々野	0	0	0	0	2	13	細見 夏希	-	-	-	-	-
12	小俣 亜矢	23	3	6	2	4	* 14	ピクトリア クビ オコイ	6	0	3	0	2
13	下崎 好	3	0	1	1	1	18	中野 有佳子	2	0	1	0	3
14	荒木 琉伽	7	1	2	0	1	24	中島 芯	-	-	-	-	-
15	西澤 楽菜	0	0	0	0	0	26	藤田 瑞木	-	-	-	-	-
16	廣嶋 あかり	0	0	0	0	0	30	古川 光鈴	-	-	-	-	-
17	大砂 菜穂	1	0	0	1	0	69	廣浦 杏	0	0	0	0	0
18	荒木 花愛	0	0	0	0	0	77	林 英美	0	0	0	0	3
コーチ	安藤 香織						コーチ	吉田 聡					
Aコーチ	長渡 由子						Aコーチ	甲良 泰明					
合計		103	10	27	19	19	合計		73	4	23	15	22
クルーチーフ: 加藤 加織													
1stアンパイア: 鈴木 恵里奈				2ndアンパイア: 柳生 志乃									

得点経過



TO	1・2Q		3・4Q		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	11:16	16:48	26:16	36:45	:	:	:	:

〔戦評〕

第1Q
両チームオールコートマンツーマン。京都両洋#8谷口のリバウンドシュートから試合が動き出す。すぐに薫英女学院#8岩井がフリースロー2本を確実に沈め振り出しに戻し、両チームともに一歩も譲らない攻防が続く。京都両洋は、#9岡田のドライブイン、#14オコイのインサイドを中心にリングアタックを続けるも薫英女学院#10的場のリバウンドをはじめ、#5三輪の連続得点で流れを掴みかけた。しかし、京都両洋の岡田が3Pシュートを決め、流れを渡さない。オコイのインサイドプレーを増やしたい京都両洋だったが、堅いディフェンスに阻まれる。薫英女学院の三輪、岩井による得点が続き、24対16薫英女学院のリードで第1Q終了。

第2Q
最初に流れを掴んだのは薫英女学院。ハードなディフェンスから速攻を出し、三輪、岩井を中心に3Pシュートやジャンプシュートでリードを広げる。一方の京都両洋は、#7木谷のドライブイン、#1ボルワチフェのゴール下シュートで得点するも、薫英女学院は攻撃の手を緩めることなく45対32でリードを広げ、前半終了。

第3Q
薫英女学院は、的場のゴール下シュート、#6幡出の2本連続3Pシュートで一気に離したかったが、木谷、岡田のシュートで流れは京都両洋に。このまま追い上げたい京都両洋だが、薫英女学院の岩井、的場中心の速攻に苦しみ20点のリードを許してしまう。オコイのリバウンドシュートで立て直したかったが、薫英女学院は、三輪、的場のインサイドプレーで相手のファウルを誘い、優位に試合を進め、52対79で第3Q終了。

第4Q
薫英女学院は、連続得点からリードをさらに広げる。一方の京都両洋は、岡田が5ファウルで退場となるが、木谷、オコイ、#18中野が奮闘し、諦めない。最後まで闘い続けた京都両洋だったが、激しいリバウンド争いを制し、ドライブインや多彩なオフェンスでリードを広げ続けた薫英女学院が103対73で決勝へと駒を進めた。両チームの健闘を称えたい。

戦評: 荒木 真由美

記録: 高田商業高校